



皆さんに育てられて44年。

これからも  
「手作り」の良さを  
贈り続けたいと思います

広報みずまき、  
おかげさまで700号

昭和25年に産声をあげた広報みずまき。町民の皆さんの元気と愛情に支えられ、2月10号で700号を迎えることができました。

これからもさらに愛される広報紙を目指してがんばりますので、どうぞよろしくをお願いします。



特集



「広報みずまき」のおかげでまぐぐぐ

# まちの息吹を伝えたい。

早いもので「広報みずまき」は今月で七〇〇号を迎えました。昭和25年に創刊され、今年で44年。今回は、昔のページをめくりながら、これまでの軌跡を簡単に振り返ってみました。それぞれのあのころを思い出してください。

## 誕生は44年前。

町を愛する熱い思いは、そのときから受け継がれたものだった

現在、発行している「広報みずまき」は、町制10周年の昭和25年に「町報みずまき」として創刊されました。しかし、残念なことに記念すべき創刊号が保存されていないため、紹介することができません。皆さんの中で第一号をお持ちの方は、役場総務課庶務係までご連絡ください。

それでは、懐かしのバックナンバーを皆さんと一緒にめくっていきましょう。

まず昭和25年1月15日に発行された第2号では、「男の華。消防出初式 新調の團服勇ましく」という見出しで、出初式の様子が書かれています。その冒頭を読んでみると、「ジャン、ジャン、ジャン、

と喉を破つてけたたましく半鐘が鳴る、鳴る、すわ一大事と新調のサシコに身をかため、一分圓から十四分圓まで男の華を競ひつづき、先頭に頃末校を庭に集合した」という書き出しで始まっています。年配の人には、なつかしい語り口調となっています。

また、昭和28年7月1日の第七

七号は、大洪水による被害状況を克明に伝えています。この洪水は、同年6月25日から降り始めた豪雨により遠賀川や堀川、羅漢川などが氾濫して家屋や農作物に大きな被害をもたらしました。

「焼けつくような太陽のもとに遠賀川は悠々と流れて居る。あれだけの恐怖と痛手を我々に与えな

がら何もなかったかの様に、おだやかな表情で！今更ながら自然の力の大きさをしみじみ思わざるを得ません」と、当時の大貝一五三町長がお見舞いの言葉を述べています。

このころは、月に一回発行していましたが、発行日は決まっていなかったようです。そして紙型はタブロイド判（現在の広報の2倍の大きさ）で、表と裏の印刷でした。写真やグラフも少なく、「お知らせ」中心の広報紙でした。

それでも昭和38年4月18日発行の第一九〇号では、当時の広報マンの広報への思い入れと熱意が伝わってくる編集後記が最後を締めくくっています。

「編集は生まれて初めての仕事、冷汗三斗の思い。皆様の率直なる御批判を仰いで、よりよき広報にしたいと胸に秘めつつ夜半の雨音にペンを置く。日は去り月移り人変わる。人生これうた。『広報水巻』は生きている」と。





# あつく びっく

「連載物」は広報の魅力の一つ。  
紙面を彩ってくれた数々の  
「連載物」から、気になるものを

## 水巻昔ばなし

昭和57年12月・No. 645～平成元年7月・No. 645



郷土史研究家の故・柴田貞志さんによる執筆。膨大な資料をもとに忘れ去られようとする史実を巧みに表現。昔の水巻を知るうえで、貴重なものでした。

## ふるさと今昔

昭和62年4月・No. 618～平成2年9月・No. 659



写真で昔と今を見比べてみるという企画。掲載した写真の大部分は、町民から提供されたものです。人気のコーナーでした。

## みずまきの人

平成2年7月・No. 657～平成5年3月・No. 689



「みずまきの人」  
「みずまきの人」  
「みずまきの人」

こだわりを持って生きている人や何かに熱中している人などに登場していただき、その経緯や将来の夢を語ってもらいました。陸上競技で記録を作った中学生のほか芸術家や海外協力青年隊員など幅広い層を対象にした企画でした。

## こんにちは保健婦です

昭和62年4月・No. 618～



健康について町民と一緒に考えていこうというコーナー。病気の予防はもちろん、保健婦からの提言や町民の投稿などいろんな角度から健康づくりをアピール。現在も元気に続いています。

より新しく、より親しみやすい  
そんな広報紙を目指して  
時代とともに着実に進化

昭和49年4月10日発行の第三〇六号からこれまでとは大きく様変わりしました。まず、発行が月一回から毎月10日と25日の二回に増

え、大きさも家庭で保存しやすいようにタブロイド判からB5判に変わりました。また配布も地区の駐在員から、町が委託した配布人

が各家庭にお届けするようにになりました。現在の「広報みずまき」の原型となったと言えるでしょう。そして表紙に大きな一枚写真が使われるようになったのも、このころからです。写真は季節感のある催しのほか何気ない町の表情をとらえたものが多く、ほのほのとした雰囲気を感じさせてくれます。

振り返ってみました。

なつかしの  
バックナンバー



時代を感じさせる創刊間もないころの「町報みずまき」

(昭和25年1月15日発行・第2号)



第200号では、「広報水巻」と名称とデザインが変わっていました

(昭和39年3月25日発行)



700号までの

# あゆみ

- 昭和25年1月 創刊
- 昭和39年3月 第200号
- 昭和39年度 県広報コンクール
  - ・特選(町村の部)
- 昭和42年度 県広報コンクール
  - ・佳作(町村の部)
- 昭和48年10月 第300号
- 昭和49年4月 第306号 タブロイ  
ド判からB5判に
- 昭和53年3月 第400号
- 昭和57年5月 第500号
- 昭和61年7月 第600号
- 昭和62年4月 第618号 B5判から  
A4判に
- 昭和63年度 県広報コンクール
  - ・入選(町村の部)
- 平成元年度 県広報コンクール
  - ・入選(町村の部)
- 平成2年度 県広報コンクール
  - ・特選(町村の部)
  - ・特選(一枚写真の部)
  - ・入選(一枚写真の部)
  - ・入選(組写真の部)
  - 全国広報コンクール
  - ・入選
- 平成3年度 県広報コンクール
  - ・特選(組写真の部)
  - ・入選(一枚写真の部)

## 「広報みずまき」は町づくりの二つの手段。 小さな声に耳を傾けながら これからも町民と一緒に歩んでいきたい

B5判から現在のサイズへと紙面が一回り大きくなったのは、昭和62年4月10日発行の第六一八号からです。10日号は、12×18ページとページ数も増えて、今も続い

ている「こんにちには保健婦です」や「まちのわだい」のコーナーが登場しました。この時期から写真やグラフィックを占める割合が大きくなり、視

今ではおなじみとなった「元氣な赤ちゃん」のコーナーが第四八三号(昭和56年8月25日発行)から始まり、シリーズものも連載されるようになりました。

昭和57年12月10日発行の第五一

四号からは、郷土史研究家の故・柴田貞志さん(机)の執筆による「水巻昔ばなし」がスタート。一回目は「地名の由来」のタイトルで水巻の地名を紹介しています。その後も地名の由来のほか、町内に残されている伝説や忘れ去られようとする炭坑の様子が歯切れの良い文章で綴られていました。

昭和53年3月10日発行の第四〇〇号を見てみると、大雪で喜ぶ子供たちが表紙を飾っていました。

読みごたえのあるこの連載を毎月楽しみにしていた人も多かったようです。「水巻昔ばなし」は平成元年7月の第六四五号まで、実に百三十二回に及ぶものとなりました。

昭和55年11月10日に発行された第四六四号は、町制40周年記念号です。町長の祝辞のほか記念式典や町の歩み、思い出の写真など表紙から7ページの特集を組んでいます。

覚に訴えることを重視するようになり、以降、内容も多彩な企画や特集などを織りませながら、さらに充実したものとなりました。一方、25日号が「お知らせ版」へと変わったのもこの月からです。

町制50周年の平成22年は、年間を通して記念事業が数多く行われました。広報でも各種イベントを取り上げるとともに、独自に50年の歴史を振り返った特集などを組み、住民と町が一丸となって盛り上がっていた様子が見えられます。

そんな中、平成22年8月10日発行の第六五八号が、福岡県広報コンクールで特選に輝き、全国コンクールでも入選を果たしました。この号では「県道水巻・芦屋線を考える」というタイトルで、県道の草刈りという取り組みにくいテーマに挑戦。しかし、住民や行政に対して積極的な問題を提起した点が評価されました。

また、自然保護への取り組みの一つとして平成3年8月発行の第六七〇号から再生紙を使用するようになりました。

### 住民との対話を活発に することが課題です。

「広報みずまき」は、情報を提供するだけでなく、町づくりの一つの手段だと考えています。その意味でもこれからの課題は、住民と行政とのコミュニケーションを図るための対話を活

4.10.11

発行も月二回になりました  
昭和49年4月10日発行・第306号

11.10.11

水巻町制発行40周年

5.10.11

初節句の赤ちゃんを初めて表紙で紹介した第500号  
昭和57年5月10日発行

町制40周年の特集が目を引き  
第464号。紙の色も水色と鮮やか  
(昭和55年11月10日発行)





伊左座区長  
吹田次敏さん（伊左座）

## 情報は知らない 「損」ですね

地区の世話をするようになってから、広報をこれまで以上に目を通すようになりました。それに注意して読んでみると、結構大切な情報を得ることができます。

情報は知らないと「損」ですし、知っていたら「得」になります。

個人的には、税金の使われ方や年金、福祉などは興味を持ち読んでいます。より多くの人に読んでもらうためにバランスのとれた紙面を望みますが、下水道計画の進捗状況の報告とゴミ問題でのマナーの啓発は定期的に行って欲しいですね。



机小学校PTA新聞  
「広報机が丘」編集委員  
西浦高子さん（梅ノ木団地）

## PTA新聞の 参考にしています。

今、私たちは「広報机が丘」の卒業特集号に取りかかっていますが、見出しや字体などは「広報みずまき」を参考にしています。ですから毎月、広報は、すみずみまで読むようにしています。主婦としては「税のコーナー」や暮らしの情報などに気をつけて読んでいます。また最近、水巻のことをあまり知らない入たちが増えてきていますので、歴史のページなどはとても大切だと思います。最後に、読者の立場から広報に望むことですが、住民の知らない行政のことも詳しく取り上げて欲しいですね。



広報を配布して20年  
越智福代さん（下二）

## 配布先での 出会いが楽しみです

「広報みずまき」を20周年配布してきました。広報を配ることは、楽しいことばかりで辛いと思ったことは一度もありません。なによりも配布先でいろいろな人と出会い話ができることが大好きです。また、町の四季や自然を感じるができますし、健康にもとてもいいんですよ。それと配っていて気がついたことなんですが、暗くて安心して通れない道があるので、街灯を増やして欲しいです。これからも広報を待っている皆さんに会うのを楽しみに頑張っていきます。



「元氣な赤ちゃん」第1回に登壇  
今村征広くん  
(母)千賀子さん（高松団地）

## そのときの広報は 今でも持っています。

征広くん／取材に来るといって、お母さんにその広報を見せてもらいました。そのときに一緒に「元氣な赤ちゃん」に出ていた女の子と今、同じクラスなのはビックリしました。千賀子さん／1歳の記念になればと思って応募しましたが、広報に載ったのを見たときは感動しましたね。その子ももう中学生、早いものです。ですからその広報だけは、今でも大切に持っています。以来、広報が届くとなぜか「元氣な赤ちゃん」のコーナーを最初に読むようになりました。

発に行うということですが、一方的な情報伝達では理解されないし、信頼を得ることはできません。住民に問い掛けていくと同時に、表面に出てこない住民の声を集めて紙面で紹介し、答えていくことが重要なのです。



町の歴史と皆さんの「元氣」が、この七〇〇号の中に刻まれています。これまで広報を発行してきたの

も、町民の皆さんの協力があってからです。いきなりの取材に快く応じてくれた人、情報を提供してくれた人、「写真はイヤ」というのにカメラを向けると笑顔でポーズをとってくれた人、皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。これからも元氣な皆さんに会える日を楽しみにしています。



▶B5版から現在の大きさに、内容もさらに充実  
(昭和62年4月10日発行・第618号)



●質問 20歳になった実感を一言で

				
松田 友恵さん (頃末) やつと大人の仲間入り	末次 定光さん (猪熊) うれしい	尾形 晴美さん (二東) 自覚を持つ	福原久美子さん (二東) 大人になってできることをやりたい	上田 貴行さん (大阪府) 責任感を持ちたいです

男性のなかにも着物姿がちらほら。

20歳の誓いを読む二子石優子さん。



# 20 はたち 歳、華咲くとき。

祝成人●この日、みんな一回り大きく見えた。

なつかしいね。久しぶりの再会。



成人式はまるで同窓会。



1月15日、中央公民館で開かれた成人式には華やかな振りそでや真新しいスーツ姿の新成人330人が参加。会場はまるで同窓会を思わせるような雰囲気、それぞれの思い出話に花が咲いていました。

**成人式のスナップ写真を展示します。** ●場所 中央公民館ロビー ●期間 2月10日(木)～2月28日(月)

●質問 20歳になった実感を一言で

				
安田 恵さん (鹿児島県) 解放されるぞ	中原 武さん (吉田三) まっぴり御免	小田ひろみさん (吉田三) いろんなことにチャレンジしたい	中村 孝弘さん (岡垣町) ヤッター	北村真理子さん (下二) これからガンバリ



# 税の申告が始まります

まもなく町県民税の申告と確定申告が始まります。申告期限は「町県民税」「所得税」いずれも3月15日(火)です。町県民税(住民税)の申告書は、原則として1月1日現在で住所がある市町村に提出してください。

会場 ● 役場101会議室

時間 ● 午前9時▷午後4時

## 一般の申告

月・日	地区名
2月16日(水)	高松団地1~12棟
2月17日(木)	高松団地13~24棟
2月18日(金)	吉田団地
2月21日(月)	二・サニーニュータウン 野間団地・二団地
2月22日(火)	下二・入江興産・林住宅
2月23日(水)	立屋敷・伊左座・みずほ 団地
2月24日(木)	頃末南・水巻苑・松栄荘
3月2日(水)	頃末北・高尾団地・中央区
3月3日(木)	猪熊
3月7日(月)	帆・古賀・新生街・樋口・ 緑ヶ丘
3月8日(火)	おかの台団地・猪熊町住
3月9日(水)	梅ノ木団地・古賀団地
3月10日(木)	吉田一・吉田二・イワセ町 住・宮尾台
3月11日(金)	吉田三・垣添町住・緑風園 団地
3月14日(月)	鯉口団地・鯉口分譲・美吉 野団地

## 農業所得のある人

月・日	地区名
2月25日(金)	立屋敷・伊左座・二・下 二・吉田一・吉田二・吉 田三
3月4日(金)	頃末・帆・古賀・樋口・ 猪熊

## 譲渡所得のある人

土地や建物を売った人は、2月25日または3月4日においでください。  
(税務署より通知があります)

## 納税相談

期間中は納税相談も行いますので、お気軽に相談ください。詳しくは役場課税係まで。

申告期限は  
3月15日(火)  
です。お忘れ  
なく

## 住民税・国保税の申告

▶申告をしなければならない人  
住民税・国民健康保険税の申告をしなければならない人は次のとおりです。  
(所得税の確定申告をした人は、住民税の申告は必要ありません。)

- ① 自営業の人 ② 農業の人
- ③ 外交員や集金人などの自由業の人
- ④ 家賃などの不動産収入のある人
- ⑤ 大工や左官業の人
- ⑥ 日雇など、日給で働いている人
- ⑦ 年金や恩給を受けている人
- ⑧ 給与所得者で住民税を天引きされていない人や、給与以外の所得があった人
- ⑨ 国民健康保険加入者で、遺族年金や障害年金・雇用保険・その他扶助料の収入のある人

### ▶申告に必要な書類

- ① 平成5年中の収入・所得のわかる資料  
イ、年金・恩給の支払通知書  
ロ、源泉徴収票 ハ、給与明細書  
ニ、収入の内容がわかる帳簿など
- ② 国民健康保険税の納税証明書  
役場納税係の番窓口で交付します。
- ③ 国民年金支払証明書  
役場国民年金係の番窓口で交付します。
- ④ 生命保険支払証明書
- ⑤ 印鑑
- ⑥ 銀行または農協の通帳口座番号  
所得税の還付や支払用です。

## 所得税の申告

商売や事業を営んでいる人、給与以外に収入のあるサラリーマンの人、地代や家賃収入のある人など確定申告の時期がやってきました。

所得税の確定申告は2月16日から始まり、3月15日までです。例年、期限間近になりますと、窓口は大変混雑しますので、申告はできるだけ早めに済ませてください。

## 還付申告は 集中還付申告センターで ■ 相談は無料 ■

ベテラン税理士と国・県などの職員が対応します。

- 期間 2月1日~3月15日  
(土、日曜・祭日は除く)
- 会場 北九州市立商工貿易会館  
1階(小倉北区モノレール日過駅前)
- 受付 午前9時~午後4時
- 問い合わせ 若松税務署まで  
(☎761-2536)

申告に関するお問い合わせは、

役場課税係まで ☎201-4321



一段と勇ましく。



新春を飾る恒例の遠賀郡四か町消防合同出初式が1月9日、水巻南中学校のグラウンドで行われました。今年は好天にも恵まれ、消防団員が息の合った分列行進や小隊訓練、ポンプ車操作などを行い、日ごろの訓練の成果を披露。続いて、表彰伝達式が行われました。

水巻町の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

- 県知事感謝状＝徳永弥太郎・増田芳幹・坂口健治・清水義夫・増田博己
- 県消防協会長表彰 永年勤続(25年)＝藤本安男・浅沼政次(20年)＝徳永弥太郎・臼井秀雄・宮崎開造・清水義夫(15年)＝中田清孝(10年)＝経塚慶次・板垣篤司(優良団員)＝町田信彦・宮崎雄介・竹原拓・三隈政明(親子消防団員)＝羽地道和夫・羽地鉄舟 ●県民火災共済組合理事長表彰(分団)＝第四分団(個人)＝藤本安男 ●消防協会遠賀支部長表彰＝坂口文男・杉野重勝 ●消防団長表彰＝入江雅道・諫山嘉登

手作りのカードを気になるあの人へ

中央公民館講座「コミュニティカルチャー・ヤング水巻」

30歳までの人を対象にした講座「コミュニティカルチャー・ヤング水巻」が、中央公民館で始まりました。この講座は、古いやテーブルマナーなど趣向を凝らした7回のコースで行われます。参加者も学生やOLの女性ばかり13人。

1月27日の第一回目は、「バレンタインカードを作ろう」と題して原色押花の製作に挑戦。カードにピンセットを使って押し花をはっていき表情は真剣そのもの。

「友達に誘われたのが、参加したきっかけです」と、初めて作ったカードを手に話してくれた個加代子さん(猪熊)。

まだ定員には余裕がありますので、興味のある人は中央公民館(☎201-0401)まで。



おじいちゃん、これあげるヨ。

田中町長、吉田保育園で「一日保母」

1月14日、田中町長が「一日保母」として吉田保育所を訪れました。この「一日保母」体験運動というのは、全国保母会が行政関係者や地域の住民に保育所に対する理解を深めてもらおうと行われているものです。今回この運動を受けて吉田保育園が、初めて町長を招いたものです。

「保育の現状とこれから水巻を背負っていく子供たちを見て欲しかった」と語る柏原園長。

田中町長は、園長の説明を受けながら乳幼児クラスを含めた全クラスを見学。町長も園児たちの人なつこい笑顔に触れ、楽しいひとときを過ごしました。





## 生涯スポーツの発展を願って

グラウンドゴルフセットをいただきました

「今までお世話になったお礼に」と、三好政敏さん（猪熊）からグラウンドゴルフセットが体育係に贈られました。1月20日、体育係を訪れた長男の三好達雄さんから職員に手渡されました。一般への貸出しも行っています。ご利用ください。



## コスモスの種のプレゼント

水巻町商工会からコスモスの種をいただきました。この種は成人式の日成新成人へのプレゼントとして贈られました。

## 元気な赤ちゃん



**田中修子くん**  
5年2月9日生まれ  
(二西)

お兄ちゃん、お姉ちゃんに食欲は負けません。たくましい水瓶座！



**平野翔太郎くん**  
5年2月1日生まれ  
(高松団地)

一歳のおたんじょうびおめでとう。ほんの一瞬歩けるようになりました。春になったら早くママと散歩しようね。



空手道スポーツ少年団寒げいこ

寒さなんかには負けないぞ

1月30日、若松区の岩屋海岸で水巻町空手道スポーツ少年団の寒げいこが行われました。この日、北九州地方の天候は雪。団員たちは、うっすらと雪化粧した海岸をランニングをしたあと、浜辺で型の練習をして体を温め、上半身裸になって冬の海に入りました。

団員は小学生から高校生までの20人。海の中で一列になり、寒さを吹き飛ばすために大きな掛け声を出し、突きの練習をしたり、水をかけ合ったりしました。

「足が冷たくとても寒かったけど、年に一回だから頑張りました」と元気な声で話してくれた木戸あゆみちゃん（伊左座小5年）。けいこが終わり、たき火のまわりで暖を取る子供たちの姿は、どこかたくましく見えました。

## できたてホヤホヤの舞台で、初舞台。

猪熊公民館落成式・祝いのつどい



1月23日、猪熊公民館の落成式が行われました。午前中の式典には、自治会役員や町関係者など80人が出席。

「この公民館に負けないような文化を作っていきたい」と話してくれたのは、猪熊副区長の小河三千雄さん。

午後からは、地域の人たちによる「祝いのつどい」が行われ、新しい舞台でギター演奏や踊りを披露。中でも地元の中学生による「猪熊太鼓」では、集まった人たちから大きな拍手が贈られていました。「夢と友達づくり」がテーマの「猪熊太鼓」は、昨年の秋祭りがきっかけで練習が始まったもので、この日が初舞台。

「練習の方が上手にできました」と風邪さみの中、一生懸命にバチを振っていた木幡圭太郎くん（猪熊・水中1年）。地域に根ざした伝統文化になることを期待しています。

掲載を希望する人は、誕生日の前月20日までに庶務係へ申し込んでください。(毎月2人まで)



# 健康づくり教室(1)

## 高コレステロール予防教室より

最近、生活習慣の変化による影響が、コレステロール値が高い人が増えてきました。今回から2回にわたりコレステロールについてお話しします。

昨年9月から今年1月まで連日保健所で健康づくり教室が行われました。この教室ではコレステロールをテーマに、参加者全員が疑問や考えを出し合いながら、知識を深めていきました。

そこで今回は、健康教室での学習場面を再現しながら、気づいたことや分かったことを、まとめてみました。

### 学習場面1

## 血液を見る

ようでした。そこで、まず「コレステロールとは何か」を知ることが大切だということに参加者全員が感じとりました。

## 学習を始めるまえに

まず学習を始めるまえに、コレステロールについてのそれぞれの考えや疑問などを自由に話し合いました。その模様を再現してみよう。

**保健婦** 「コレステロールってなんだと思いますか？」

**受講生** 「油・・・」

**保健婦** 「どこにあると思いますか？」

**受講生** 「体の中とこにもありそう」

このように、コレステロールについては、あまり知られていない

検診で採った血液の中で、コレステロール値が異なる4人の血液を見比べてみました。すると、「色や透明度が違う」と驚きの声。

そこで、一人一人の血液を採り、その姿を肉眼で観察してみました。すると、次のようなことが分かりました。

●コレステロール値が高い人の血液は、白く濁っている。

●人によって、血液の色や濃さが違う。

### 学習場面2

## コレステロールとは

ここでは、スライドや図などの資料を使って、人間の体の中のどの部分にどのくらいのコレステ



ロールがあるのかを調べます。その結果をもとに、コレステロールの働きや食事との関係などを参加者全員で、話し合いました。そして、次のようなことを知ることができました。

●脳や内臓に多く含まれている。

●細胞膜やホルモンを作る働きがある。

●多すぎると、血管の壁につくって血液の通り道が狭くなり動脈硬化や狭心症を引き起こす

●これまでの学習で、参加者全員はコレステロールに対する基本的な知識を身につけました。

今回は、高コレステロール予防のため、「運動と栄養」について学習したことをお知らせします。

## 国民年金 ア・ラ・カ・ル・ト

### なるほど納得、国民年金。

**Q** これまで国民年金に加入していましたが、今度サラリーマンと結婚することになりました。国民年金はこのままでいいのですか？

**A** 国民年金の第一号被保険者から第3号被保険者になることとなりますので、役場国民年金係に種別変更届けをしてください。この手続きによって、第3号被保険者の資格を得ることになります。

また、第3号被保険者は、保険料を自分で納める必要はありません。妻の保険料は夫の厚生年金制度から拠出金として国民年金制度に支払われます。夫の給料から天引きされるわけではありません。

**Q** 20歳から10年間会社勤めをした後、脱サラしました。国民年金はあまり期待していないので、保険料を納めていません。その分個人年金で補うつもりですが・・・

**A** 20歳以上60歳未満の人はすべて国民年金に加入しなければなりません。また、未加入や保険料の滞納が長い間続くと、老齢厚生年金の受給資格期間も満たせなくなり、せっかく10年間かけた厚生年金も受給できなくなります。なお国民年金は個人年金とちがい将来受け取る年金額の価格が下がらないよう、完全自動物価スライド制がとられています。



**Q** 45歳の自営業です。国民年金には20歳から加入しているので、老齢基金年金の受給資格期間の25年を満たしました。今後、保険料を払わなくてもいいのでしょうか？

**A** たとえ受給資格期間を満たしていても、国民年金には60歳まで加入し、保険料を納めなければなりません。また、65歳から満額の年金を受け取るためには、20歳から60歳までの40年間すべて保険料を納付しなければなりません。

国民年金に関する問い合わせは、役場国民年金係まで



ご存じですか

# 70歳からの医療です。

このコーナーでは70歳（一定の障害がある場合は65歳）以上の人を対象にした老人医療制度を紹介します。

## 1 対象

次の要件をすべて満たしている人

- 町内に住んでいる人
- 健康保険に加入している人
- 生活保護法による医療保護を受けてない人
- 70歳以上の人または次の障害要件を満たしている65歳以上の人

### 【障害要件】

- (1)国民年金法による障害基礎年金の1級または2級に該当する人
- (2)身体障害者手帳の1・2・3級の人、4級のうち音声・言語機能障害をもつ人と下肢障害の1号・3号・4号に該当する人
- (3)福岡県療育手帳の判定が「A」の認定を受けている人
- (4)障害もしくは病状が(1)、(2)、(3)と同程度以上であると認められる人

## 2 支給を開始する日

①70歳の誕生日の翌月の初日から。1日生まれの人はその月の初日から。

例1. 6月10日生まれの人→7月から対象に  
例2. 6月1日生まれの人→6月から対象に

②65歳からの人は申請月の翌月の初日から。

③転入の場合は転入の日から。

## 3 医療費の本人負担額

本人負担額は平成5年4月1日に改定されたものです

◇外来 1月に1000円（通院する病院ごとに）

◇入院 1日に700円

## 4 持ってくるもの

健康保険証、印かん、65歳からの人はその障害要件に該当することを証明する書類（障害者手帳・年金証明書・療育手帳など）

■お問い合わせ 役場**保険医療係**まで

訂正とおわび 1月10日号の「医療費の公費支給制度」の表の中で「重度障害者」とあるのは「重複障害者」の誤りでした。訂正し、おわびします。

# 求む。

## 秋・冬の写真



## ミニ写真コンテスト

締切りは2月28日まで/今がシャッターチャンスです。お気軽に応募してください。

秋・冬の水巻町を感じさせる季節感あふれる写真をお待ちしています。募集の締め切りは2月28日（月）です。

- 題材 水巻町の自然や祭り、伝統行事、生活風景などで秋・冬を感じさせる作品
- 応募作品 カラープリント2Lサイズ（12.7センチ×17.7センチ）～4ツ切りサイズ
- 撮影期間 平成5年10月1日から平成6年2月28日までに撮影したもの
- 表彰 ▷金賞（1人）賞金1万円 ▷銀賞（2人）賞金5千円 ▷銅賞（3人）賞金3千円 ▷入選（5人）賞品

※入選以上の作品は、自動的に「水巻町こころのフォトコンテスト」への応募となり、審査の対象となります。  
※入賞作品の著作権は、作品提出日から主催者に帰属します。

●応募・問い合わせ 役場企画課 TEL201-4321



因田町の闘果  
第14回剣道選手権大会  
1月30日・武道館

区分	優勝	準優勝	3位
中学1年男子	坂本 義治	三好 弘幸	須本 栄二
中学2年男子	中川 哲平	三好 俊弘	松木 貴臣
中学生 女子	井上あかね	窪 智美	安田 秀子
一般4段以下	川副 関也	小野 礼一	倉 淳二
一般5段以上	清水 明徳	徳川 勝行	野坂 時夫



# くらし の LIVING INFORMATION

## 情報

お問い合わせは

- 水巻町役場……201-4321
- 中央公民館……201-0401
- 南部公民館……202-2472
- 総合運動公園内  
(体育係)……201-4000  
(テニスコート)……201-5757
- 町民体育館……201-3936
- えぶり山荘……202-6230
- 福祉センター……201-0794
- 社会福祉協議会……202-3700

### 春まで待つてネ。



猪熊河川敷公園は  
(1000メートルトラック)  
改修工事のため、  
2月21日から約1か月間  
使用できません。  
工事にご協力ください。  
—— 体育係 ——

働く気持ち応援します  
シルバー能力活用事業

町社会福祉協議会



希望する人は申し込んでください。また、現在登録中の人も更新  
手続が必要です。

●申込資格 ①町内に住み健康で  
働く意志のあるおおよね60歳以  
上の人。②特技や技術がなくて  
も受け付けます。

- 仕事内容 (1)除草作業 (2)大工  
(3)植木せんてい等 (4)河川敷公  
園管理 (5)総合運動公園管理  
(6)東水巻駅前公園管理 (7)ター  
ゲットボードゴルフ場管理 (8)  
町内公園遊具点検清掃管理
- 募集期間 平成6年2月から

(随時募集いたします)

●登録期間 平成6年4月から平  
成7年3月まで(二年間)

●申込方法 申込書は町社会福祉  
協議会にあります。印鑑を持っ  
ておいでください。

建設工事の入札参加者は  
4月1日から受け付けます

管財係

平成6年度に町が発注する建設  
工事の入札に、参加を希望する業  
者の追加受付を行います。

また、現在登録している業者の  
更新手続も同時に行います。

●受付期間 4月1日～15日  
(土曜日・日曜日は除く)

●受付場所 役場財政課管財係

●提出書類  
【追加受付】平成5年度に申請し  
ていない業者  
建設省統一様式・町指定の業者  
カード(百円)

【更新受付】平成5年度に申請し、  
登録された業者

経営事項審査結果通知(写)・  
町税の納税証明・町指定の業者  
カード(百円)

※業者カード裏面の地図は、詳細  
に記入してください。

《測量、コンサルタント業者の追  
加受付も行います》

受付内容は、建設工事の入札参  
加者と同じです。



働きながら学べます  
定時制高校の生徒募集

福岡県教育庁

働きながら高校教育を受けた  
人のために県立高校の定時制課程  
と通信制課程では、6年度の生徒  
を募集します。

〔定時制〕

▽願書受付 2月15日から22日の  
正午まで

▽学力検査 3月9日(水) 20  
歳以上の志願者は、学力検査の  
代わりに作文で受験することが  
できます

〔通信制〕

▽願書受付 3月27日～4月3日  
▽合否の決定 願書を提出すると  
きに面接と書類審査を行い、合  
否を決めます。

●問い合わせ 福岡県教育庁指導  
第一部 高校教育課 ☎(092)  
6511局1111番

電話加入権を  
公売します。



●とき/2月28日(月)  
午前10時～

- ところ/役場2階 201会議室
- 公売物件/電話加入権4台
- 公売方法/入札
- 代金の納付/当日の納付に限  
ります。
- 問い合わせ/税務課納税係

※中止の場合がありますので、  
事前に確認してください。

県立直方豊学校の  
幼稚部の入学生を募集

県立直方豊学校

●対象 ①聴覚障害のためにき  
こえや言葉の発達で困っている  
幼児 ②昭和63年4月2日から  
平成3年4月1日までに生まれ  
た幼児(4歳児と5歳児の編入  
も受け付けています)

●募集期限 2月17日  
●入学選考日 3月2日(水)  
●問い合わせ 福岡県立直方豊学  
校(直方市感田347-1) ☎  
(09492) 6局5351番



## 2月1日から規制されます 拡声器による暴騒音

折尾警察署

2月1日から「拡声器による暴騒音の規制に関する条例」が施行されました。

この条例は、住民の皆さんの静かな日常生活を守るため、社会常識の範囲を超えた暴力的な拡声器騒音を規制することを目的としています。そのため運動会やお祭りなどを除き、85デシベル（地下鉄の車内音が80デシベル程度）を超える拡声器の使用は禁止されます。

●問い合わせ 折尾警察署 ☎691局0031番

## 聴かせてください。バナナの声 県政モニター募集

福岡県広報課

県では「開かれた県政」をめざし、皆さんから県に対する意見や要望をお聴きするため、県政モニターを募集しています。

●応募資格 県内に住む20歳以上

の人（常勤の公務員と県政モニター経験後5年以内の人は除く）

●任期 4月1平成7年3月

●申込期限 2月28日

●応募方法 役場庶務係に用意してある応募ハガキに「県政に關心のあること」を記入の上、投函してください。

●申し込み・問い合わせ 福岡県

総務部広報課「県政モニター」

担当係（福岡市博多区東公園7

17）☎（092）651局1

111番

## お気軽に利用ください 外国人のための人権相談所

福岡法務局

日本の法制度を十分に理解していないため、生活に不便を感じていませんか。法務局では、外国人を対象に就労・帰化・住宅・入国管理などの人権問題に関する相談を受けています。

●とき 毎月第2水曜日午後1

時～4時（祝日を除く）

●担当者 人権擁護委員（弁護士・法務局職員）

●ところ・問い合わせ 福岡法務

局人権相談室（福岡市中央区舞

鶴3-9-15）☎（092）7

21局4570番



## 身体障害者の「ついで」で お見合いをしませんか

福岡県身体障害者福祉協会

福岡県身体障害者福祉協会では結婚を希望する体の不自由な人のついで（集団見合い）を3月6日（日）に開催します。

参加者は、協会への登録が必要

です。参加を希望する人は、2月

21日までに登録の手続きをしてく

ださい。

●手続きに必要なもの ①写真2

枚（縦9センチ、横7.5センチ）

②印鑑 ③住民票謄本（再婚者

は戸籍謄本も必要）

●申し込み・問い合わせ 福岡県

身体障害者福祉協会（福岡市

中央区六本松1-22-2）☎

（092）751局3239番

## 愛のおくりもの ありがとうございました

町社会福祉協議会

次の方々から社会福祉協議会にご寄付いただきました。

一般寄付として

●JA速賀水巻支所年金友の会

陶芸部 様

●速賀郡農業振興連絡協議会 様

●頃末カトリック水巻教会 様

●香典返しとして

●頃末 故・後藤 黄成様

●後藤みよ子様

●高松団地 故・畑野 徳男様

●畑野万千代様

●高松団地 故・福岡 梅子様

福岡 寿様

●頃末 故・丸山 銀蔵様

●丸山カズエ様

●猪熊 故・千田スミ子様

●徳重 妙子様

●梅ノ木団地故・山田キノ様

山田 明美様

●下二 故・吉田 喬 様

吉田 タミ様

●吉田三 故・古賀サツキ様

古賀 義隆様

●吉田二 故・筆保 英二様

筆保真知子様

●吉田団地 故・山本 郁夫様

山本 研二様

●下二 故・竹辺 正明様

竹辺 初江様

●吉田団地 故・関屋 智佳様

関屋美由美様

●二 故・矢野シズエ様

矢野ヒサコ様

●伊左座 故・吹田マツエ様

吹田 国臣様

●古賀 故・奥 精 様

奥 カツエ様

●下二 故・上村チサト様

上村 隆男様



楽しい料理  
づくり教室

## 和食を見直そう！

「和食を見直そう」と題して、料理研究家の高畑康子さんの講演と調理実習を行います。楽しい料理づくりです。ふるってご参加ください。

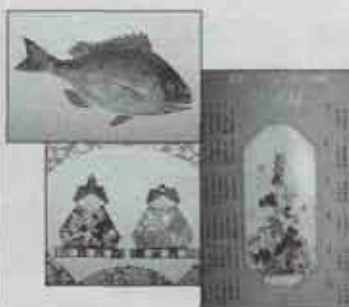
- とき 3月10日（木）  
午前9時～正午
- 募集人員 20人（定員になり  
しだい締め切ります）
- 材料費 1000円程度
- 持ってくるもの エプロン
- 募集期間 2月14日～25日
- 申し込み 南部公民館

## 公民館趣味講座 受講生の作品展

## 力作ぞろい。

ぜひご覧ください

- とき 2月21日（月）～28日（月）
- ところ 中央公民館展示コーナー



- 展示作品
- 【魚拓コース】  
縁起魚拓「鯛」「かわはぎ」
- 【つまみぐいコース】  
パッチワーク・ちぎり絵・  
折り紙
- 【押し花コース】  
しおり・カレンダー・短冊・  
クリスマスカードほか



# むかし

## むかし

このコーナーでは、水巻町誌をひもとき町の歴史や風土、文化などを紹介します。

町誌探訪

11

近世の水巻(4)

### 道祖神と交通



旧河守様は「セキノカミ」と呼ばれ、子供の咳に悩む人が願いをかけたに訪れていたようです。

道祖神が道標として祭られはじめたのは、平安朝の末期からであると言われています。村々の境や道の辻、山麓などに建てられ、村人の運命や、健康を守りまた旅人の安全を折る意味で祭られました。

現在の水巻にも、八観神社の興玉神や、伊豆神社の猿田彦命など、いくつかの道祖神が残っています。この道祖神は祭神が複雑で幸の神、庚申尊、猿田彦大神などいろいろあり、水巻ではサヤノカミまたは庚申と呼ばれていました。また、道祖神は道の神としてだけでなく、咳の神、疫病の神としてあがめられ、一般の信仰を集めていました。中でも、河守神社にある

旧河守様は「セキノカミ」と呼ばれ、子供の咳に悩む人が願いをかけたに訪れていたようです。

「和名抄」によると道祖神を「サヘノカミ」と言うことがあります。これは、寒の神の名で呼ばれ、防障、防塞の神として外から襲ってくる疫病、邪神、悪霊、邪気病中害などを村境や峠、四つ角、橋のたもとで、防ぎとさぐる神のことです。

日本固有の民間信仰として、祭り神もいつの間にか、複雑さを加え本来の道祖神(サヤノカミ)は猿田彦大神にかわり、いつしか鼻の高い天狗の像や三猿を置くなど、一般の信仰を集めるにつれ、変化をしていきました。

また道祖神の建っているところは、村外れの子供の遊び場としてなごやかな雰囲気をもせていました。子供たちは道祖神の前を通るたびに道の小石を道祖神に供えることが習慣となっていたようです。道祖神と子供の仲は良かったようです。

水い旅をつづけている人が、この一里塚にも似た道祖神を見いだすことで、どのように感じたこと

でしょうか。昔の旅がひどく困難であった時代の道祖神は、いつも旅人に安堵と希望を与えていたことでしょう。

### 〇〇さんの二つまげ

明治初年香椎宮に派遣された勅使の送迎は水犬丸(八幡西区)から吉田、垣生、底井野(中間市)を経て赤間(宗像市)を通る道筋に決められました。そのとき、沿道の寺院は門を閉じて、幕を張りめぐらし、地蔵像や観音仏のようなものには笠で囲いをして勅使の目に触れないように隠されていました。つまり僧侶の姿をした人は一切道道で迎えることができなかつたのです。ちょうどそのころ頭を丸めた医者が吉田村に住んでいました。この医者は一世一代の盛事に参列することを待つ一人でしたが、頭髪だけはどうすることも出来ません。いろいろ思めぐらした結果、頭に髷をのせることを思いつき、古毛を集めて髷をつくり、びんつけて頭に張りつけることにしました。やがて勅使の通

過の日にこの医者も参列の列の中に混じって、道に座ってお迎えをすることになりました。しかし、勅使の通るのが遅れ、ただでさえ暑い六月の沿道、直射日光に照りつけられ、いつの間にか汗が首筋を流れるのでした。やがて勅使が間もなく通過すると前触れがあり、威儀を正すために頭に手をやると、髷がない。あわてたがこんなこともあろうかと、予備に持っていた髷を袖から取り出して、手早く頭にのせ通過をかしこまって送ることができ、やれやれと胸を撫でたとところ突然まわりの人達から笑いが沸き起こりました。皆がこの医者の頭を指しながら笑っているのです。そんなはずはないと頭に手をやってみるが髷はちゃんと着いている。念のために後頭に手をやるとなんと、落としたと思つた先に付けた髷のびんつけがながれて後頭についていたのです。結局この医者は二つの髷をつけてかしまつて、勅使を拝顔したのでした。この事はそれからしばらく、「〇〇さんの二つ髷」と村人の笑い話になったそうです。



堀川のほとりにある河守神社

編集後記

1月30日、若松区の岩屋海岸へ空手スポーツ少年団の集この日は、久しぶりの大雪で、町はうっすらと雪化粧。厳しい寒さの中、子供たちが、元気に練習している姿には、ただただ感心するばかり。この日、子供たちが見せてくれた勇気と根性を見習い頑張っていかなければと思いました。また、今回で700号を迎えた広報みずまきを、確かに引き継いでいくためには、熱意と根性のほかには、熱意に強い体づくりも必要だと感じました。(寺田)

皆さんは、古い本や書類を眺むうちに体がゆくゆくなるといふ経験はありませんか。700号の特集を作るには、まず、これまでの広報を善庫から引張り出して読まなければならず、右手でページをめくりながら、左手で背中や足を掻くという状態が続きました。しかし、そのうち「かゆみ」も編集作業も忘れて読みふけり、掃りが遅くなることもしばしば。何十年も昔の知らない出来事や素晴らしい写真などを紙面の中で発見するたびに、「(と)」「(と)」「(と)」を連発。それと同時に、会ったこともない歴代の広報マンたちも原稿用紙を前に同じ苦勞をされていたかと思うと胸がつまみます。さあ、過去を振り返るのもおしまい。すぐ目の前には、701号が待っていますから。(蔵元)



この広報は再生紙を使用しています。